議会改革特別委員会報告（要旨）

平成27年第２回定例会で付託を受けた、議員定数及び議会改革についての調査の結果について、下記のとおり報告いたします。

〇委　　員　5名
〇委 員 会　34回（平成27年６月～平成31年２月）
〇調 査 視 察　1回（登別市）
〇研 修 会 等　3回
〇議会報告会　2回
〇具体的事項の調査結果

【市民に開かれた議会】

⑴　議会のインターネットライブ中継・録画配信について

一般質問の音声データ配信について、平成28年第４回定例会より実施するとともに、市議会だよりにＱＲコードを記載し周知を図ることにし、また、総括質疑の音声データ配信についても実施することとしました。

本会議及び予算・決算特別委員会の中継・配信については、新庁舎において公開することとし、常任委員会については、引き続き検討していくこととしました。

⑵　議会報告会や市民フォーラムについて

議会報告会は、今後も実施していきますが、平成31年度以降の実施主体については、引き続き検討することが望ましいと決定しました。

市民フォーラムについては、必要に応じて開催を検討します。

⑶　傍聴者を増やす取り組み

定例会のある月の広報すながわに、傍聴を促すビラを入れることに決定しました。

⑷　会議録の検索システム化について

導入している議会の調査を踏まえ、導入費用と活用効果、利用実績や利便性などを考慮し、現行どおりの対応としました。

⑸　政務活動費の公開について

政務活動費における領収書と新たに作成することとした政務活動報告書について、平成29年度分政務活動費から、ホームページ上で公開することにしました。

⑹　常任委員会のあり方について

主に一般質問的総体の質疑、会議録の公開などについて協議を行いましたが、現行どおりの運営としました。

【議会の活性化に向けた取り組み】

⑴　質疑・質問制度について

一般質問における一問一答制度については、大項目中の質問方法について、各議員の裁量とすることとし、平成29年第１回定例会から実施しました。

代表質問・追跡質問制度の導入については、今後の検討課題としました。

一般質問における常任委員会所管事項の制限については、常任委員会における総体の質疑との関連や会派制の問題もあり、現行どおりの運営としました。

⑵　議会内のＩＣＴ化について

調査、研究（情報収集・資料印刷）などのため、パソコン（インターネット環境含む）・プリンターを導入（１か所）することにしました。プロジェクターやスクリーンなどの活用は、今後の新庁舎建設など将来に向け実施するものとして調査を進めていきます。タブレット端末の活用は、スケジュール管理やペーパーレス化など多方面に利点がありますが、経費削減効果、利用状況や議員間で認識の違いもあることから、今後も調査を続けていきます。

⑶　理事者側からの議員への反問について

理事者側から議員への反問については、説明員の反問として、従前から実施している趣旨確認程度を認めることについて確認をしました。

【議員定数について】

⑴　議員定数について

議員定数については、全会一致で13名にすべきものと決定しました。

【おわりに】

当委員会では、「市民に開かれた議会」、「議会の活性化に向けた取り組み」、「議員定数について」をテーマに据え、３年半にわたり議論を重ねました。一部について、引き続き検討が必要と決定したものもありますが、それぞれの調査研究事項については、結論を出し、実行してきたところであり、結果として、議会傍聴者数は、若干ではあるものの増加傾向に転じ、議会開催日時に関して問い合わせの電話が、事務局に来るようになってきています。また、議会報告会についても、１回目より２回目の参加者が増えていますし、議員定数についても全会一致で決定するなど、一定の成果を出すことができたものと判断し、今回の報告を持ってその任務を終えることといたします。

編集後記

平成を振り返ってみますと、甚大な災害が多くありました。平成という年号に反するような雲仙普賢岳火砕流から始まり、記事になる大地震は23件、台風にあっては６件、猛暑や冷害等、地球温暖化による異常気象とも言われている事柄もありました。

近年では、地震と大津波によって起きた未曾有の大災害、東日本大震災があります。多くの人命と建物が一瞬にして奪われていく様を見て、何とも言えない気持ちになったことを思い出します。北海道においては、胆振東部地震と全道におけるブラックアウト等があり、日頃から、災害に対する対応や備えを整えておかなければならないことを痛感しているところです。

さて、今期最後の「市議会だより」の発行になりますが、この２年間、８回の「市議会だより」は、辻委員長をはじめ５人のスタッフと議会事務局職員により、誠意を込め作り上げた広報紙です。ご愛読いただきました市民の皆様に心から感謝申し上げます。

次回からは、新たなスタッフで、内容の充実を図り市民の皆様に読んでいただける「市議会だより」をお届けいたします。（中道）

議会広報編集委員会
委員長　辻　勲
副委員長　佐々木政幸
委員　多比良和伸
委員　中道博武
委員　武田真

※市議会だよりは資源保護のため植物油インキを使用しています。